

会期中に横浜市が関わったプログラム

女性活躍推進セミナー

「女性のリーダーシップ～活気あるインクルーシブで持続可能なアジアへ」

ADB Seminar "Women's Leadership for Vibrant, Inclusive, and Sustainable Asia"

林市長を含めた国内外のリーダー5人が、さらなるアジアの発展のために、それぞれの分野における女性リーダーの必要性や変革に向けた決意を述べ、いかに女性のリーダーシップを推進していくかについて議論しました。

*日時

平成29年5月5日(金・祝) 14:00～15:30

*会場

パシフィコ横浜 会議センター501

*共催

横浜市、アジア開発銀行

*参加人数

約250人

*主な参加者

アジア開発銀行(ADB)年次総会参加者

*内容

1 基調スピーチ

林 文子 横浜市長

《スピーチ要旨》

- ・横浜市は、市民の皆様のQOL向上と持続的な成長の視点から、他都市に先駆けて保育所待機児童対策に取り組み、市内企業に女性登用を働きかけるなど、女性の活躍支援に力を注いでいます。
- ・また国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」においても、ジェンダーの視点が盛り込まれるなど、女性活躍の取組は、世界中で加速しています。
- ・一方、アジアは目覚ましい経済成長を遂げる反面、女性のリーダーシップに関しては遅れをとっている状況です。それぞれの経験と知見、力を結集し、女性たちが真にポテンシャルを発揮できるアジアの実現につなげていきましょう。



女性活躍推進セミナー

開催概要 - ADB YOKOHAMA -

2 パネルディスカッション

【パネリスト】

- ・ シャムシャド・アクタール
国連事務次長、国連ESCAP事務局長
- ・ 林 文子 横浜市長
- ・ オヨーン・サンジャースレン
グローバル・ウォーター・パートナーシップ会長
- ・ 新宅祐太郎 テルモ株式会社取締役顧問
- ・ デボラ・ストークス ADB副総裁

【モデレーター】

- ・ シャランジット・レイル
BBCワールドニュースプロデューサー兼プレゼンター

【パネリストからの主な発言】

- ・ アジアにおいて未だ意思決定の場に女性リーダーや管理職が非常に少ない現状である。
- ・ 性別による役割分担意識が根強く残っていること、長時間労働が慣行化していること、男性ネットワーク中心の社会であること等が、女性活躍を阻む原因となっている。
- ・ 政策や企業での意思決定に多様性を取り入れるため、女性リーダーの育成は不可欠である。特に次世代の女性リーダーのために、若い女性へのメンターやロールモデルが必要である。
- ・ 明確な達成目標を設定し、法改正や機構改革、民間部門へのインセンティブ、民間企業における企業戦略や働き方改革等を地道に実行することで、政府や自治体、企業が一体となり、継続的に女性のエンパワーメントを実現すべきである。



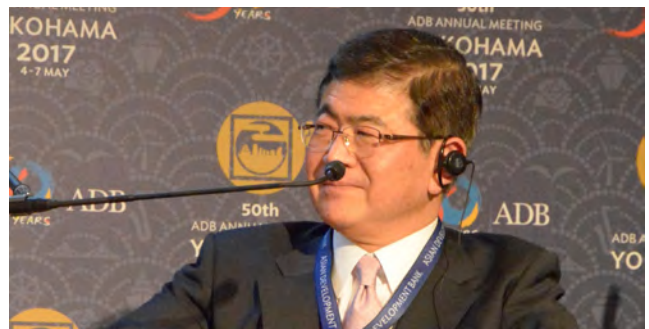
シャムシャド・アクタール 国連事務次長、国連ESCAP事務局長



林文子 横浜市長



オヨーン・サンジャースレン
グローバル・ウォーター・パートナーシップ会長



新宅 祐太郎 テルモ株式会社取締役顧問



シャランジット・レイル BBCワールドニュースプロデューサー



デボラ・ストークス ADB副総裁

会期中に横浜市関わったプログラム

次世代育成セミナー

「貧困削減とインクルーシブな経済成長に向けて
～横浜の若者による分析と実践的ビジネス教育プログラムの試み～」Host Country Youth Event “Reducing Poverty and Fostering Inclusive Economic Growth:
Analysis and Practical Business Attempts by Youth in Yokohama”

横浜国立大学及び横浜市立大学の学生が、アジア開発銀行(ADB)本部のあるフィリピンでの事前フィールドワーク調査について発表しました。さらにADBエコノミストを交え、13大学9か国52名の学生がフィリピンの貧困と経済格差の課題解決に向けて英語で議論を交わし、ADBに向けて提言を行いました。

*日時

平成29年5月6日(土) 16:00～17:30

*会場

パシフィコ横浜 会議センター502

*主催

横浜市

*参加人数

約200人

*主な参加者

ADB年次総会参加者

*内容

- 1 開会挨拶
渡辺巧教 横浜市副市長
- 2 横浜国立大学プレゼンテーション
- 3 横浜市立大学プレゼンテーション
- 4 グループ討論
- 5 各グループ発表
- 6 総評
ウーチョン・ウム ADB官房長
- 7 ADBへ提言文の贈呈

【プロジェクトリーダー】

- ・ 椛島洋美 横浜国立大学教授
- ・ 芦澤美智子 横浜市立大学准教授

【ファシリテーター】

- ・ 佐藤 峰 横浜国立大学准教授
 - ・ 大西 純 横浜市立大学教授
 - ・ エイミー・リュウン
ADB持続的開発・気候変動局次長
 - ・ 吉野直行 アジア開発銀行研究所所長
 - ・ 平田ケンドラ シティネット横浜事業課長
 - ・ 橋本 徹 横浜市国際局国際協力部長
- ※実施日の役職で記載しています。

【参加学生】(大学生、大学院生、留学生)

横浜国立大学、横浜市立大学、フェリス女学院大学、神奈川大学、明治学院大学、慶應義塾大学、東京大学、明治大学、東京外国語大学、京都大学、東京工業大学、早稲田大学、フィリピン大学



ADBへ提言文を贈呈

開催概要 - ADB YOKOHAMA -



横浜国立大学による発表



横浜国立大学による発表



グループ討論



グループ討論



学生と関係者全員で記念撮影

会期中に横浜市が関わったプログラム

「強靱性のある都市と成長の推進」セミナー

ADB Seminar "Resilient Cities, Driving Growth"

アジア太平洋地域の共通の都市課題である気候変動や災害リスクの増大に対し、都市部の回復力強化の重要性、強靱性のあるソリューション開発等を議論するセミナーにおいて、横浜市の都市づくりを所管する都市整備局長が基調講演を行いました。

*日時

平成29年5月6日(土) 14:30~16:00

*会場

パシフィコ横浜 会議センター501

*内容

- 1 基調講演
薬師寺えり子 横浜市都市整備局長
- 2 基調講演概要
タイトル
「Moving towards Cities of the Future - Governance with a long-term vision -」

かつて横浜市が直面し、現在アジアの諸都市が抱えている、人口急増によるインフラ不足や環境破壊などの課題に対して、これまで横浜市が取り組んできた、長期的かつ総合的なビジョンに基づく都市づくりを、都心部強化事業などを例に挙げて説明しました。

また、今日的課題である気候変動に対して、横浜市が公民連携で取り組んでいる「横浜スマートシティプロジェクト」やアジア諸都市の都市課題解決に貢献するため推進している「横浜の資源・技術を活用した公民連携による国際技術協力(Y-PORT事業)」についても報告しました。

さらに、2013年にアジア開発銀行(ADB)と締結した覚書に基づき、アジアの持続可能な都市づくりに取り組むとともに、世界の都市や国際機関との連携を今後一層深め、アジア諸都市の発展に寄与していきたいという考えを示しました。



基調講演の様子